

施設名	東平選鉱場、索道停車場								
所在地	愛媛県 新居浜市								
管理者等	新居浜市								
施設種類・分野	建築								
施設概要 (明治期との 関連含む)	東平は海拔750mに位置し、明治35年第三通洞の貫通を契機に開発、明治38年、輸送力増強のための坑内電車やドイツ・ブライヘルト式索道の設置など運搬の近代化が図られた。大正5年から昭和5年まで別子銅山の採鉱本部が置かれ、最盛期の人口は約5,000人といわれている。昭和43年に第三通洞による採鉱が終了し東平は閉鎖された。選鉱場跡(石積大島花崗岩)、幅32m、投差28.5m)、索道停車場跡(石造、一部煉瓦造。高さ5.3m、幅員3.5m)。								
築造時期	明治後期		時期詳細	明治37年					
関連人物	鈴木馬左也(第3代目住友総理事)								
関連企業	住友金属鉱山(株)								
トピックス (特徴的エピソード)	本市の観光施設マイントピア別子・東平ゾーンには、第三通洞、第三変電所、東平配電所(現メイン工房)など多数の産業遺産が現存しており、特に、東平選鉱場等は、東洋のマチュピチュともいわれ多数の観光客が訪れている。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	—	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	愛媛県近代化遺産総合調査報告書(愛媛県教育委員会文化財保護課 2013年)								
管理者等のHP(URL等)	新居浜市 http://www.city.niihama.lg.jp/								